

柳井市 洪水ハザードマップ

大島地区

この洪水ハザードマップは、境川・石神川・滝川が氾濫した場合の浸水状況を示しています。氾濫による着色がない地域でも、状況によっては浸水することがありますので注意してください。洪水に対しては、事前の備えを行うことで被害を軽減することができます。雨の降り方や浸水の状況に応じて十分注意し、早めの避難を心がけましょう。

洪水浸水想定区域指定の前提となる降雨
(想定最大規模)

降雨継続時間	降雨量	河川名
24時間	557mm	境川、石神川、滝川

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

No	指定避難所	指定緊急避難場所 施設・場所名	所在地	使用可否	
				洪水	土砂災害
①	大島グラウンド	神代1675-1	—	×	
②	神代地区グラウンド	神代4110	—	×	
③	大島中学校	神代4273	●	×	
④	指 大島小学校	大島757-2	●	●	
⑤	大島公民館	大島1500	●	●	
⑥	遠崎地区体育館・遠崎地区グラウンド	遠崎340	●	×	
⑦	指 柳東小学校	柳井964-1	●	●	
⑧	指 柳東文化会館	柳井1029	●	●	

※「屋内●」は避難対象の施設・場所、「×」は避難対象外の施設・場所、「—」は異常な現象発生時に大雨、台風が想定されるため、避難場所として適さない施設・場所をいいます。

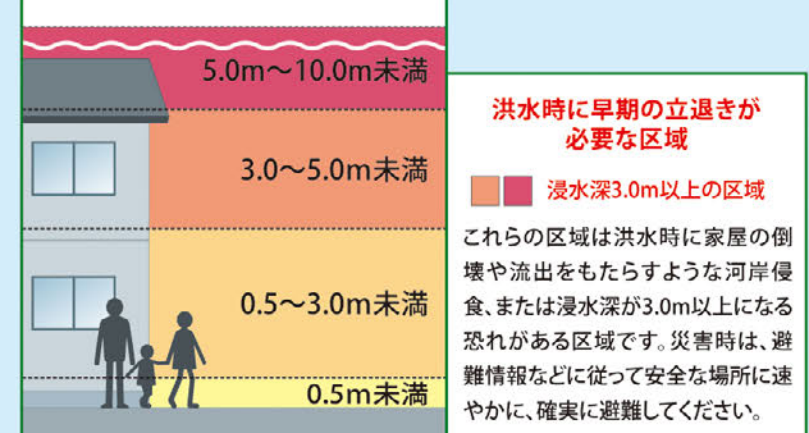
要配慮者利用施設一覧

No	要配慮者利用施設	所在地
1	大島保育所	神代2966-25
2	巖所クリニック	大島909-7
3	デイサービスセンターありがとうやない	遠崎7-1
4	有料老人ホームありがとうやない	遠崎7-1

要配慮者利用施設は柳井市ホームページで随時更新しています。
<https://www.city-yanai.jp/site/bousai/hinankakuhoikeikakusui bou.html>

※要配慮者利用施設とは…社会福祉施設、学校、医療施設等、主として防災上の配慮を要する方々が利用する施設です。
※浸水想定区域内に位置する施設を掲載しています。避難場所ではありません。

浸水深の目安

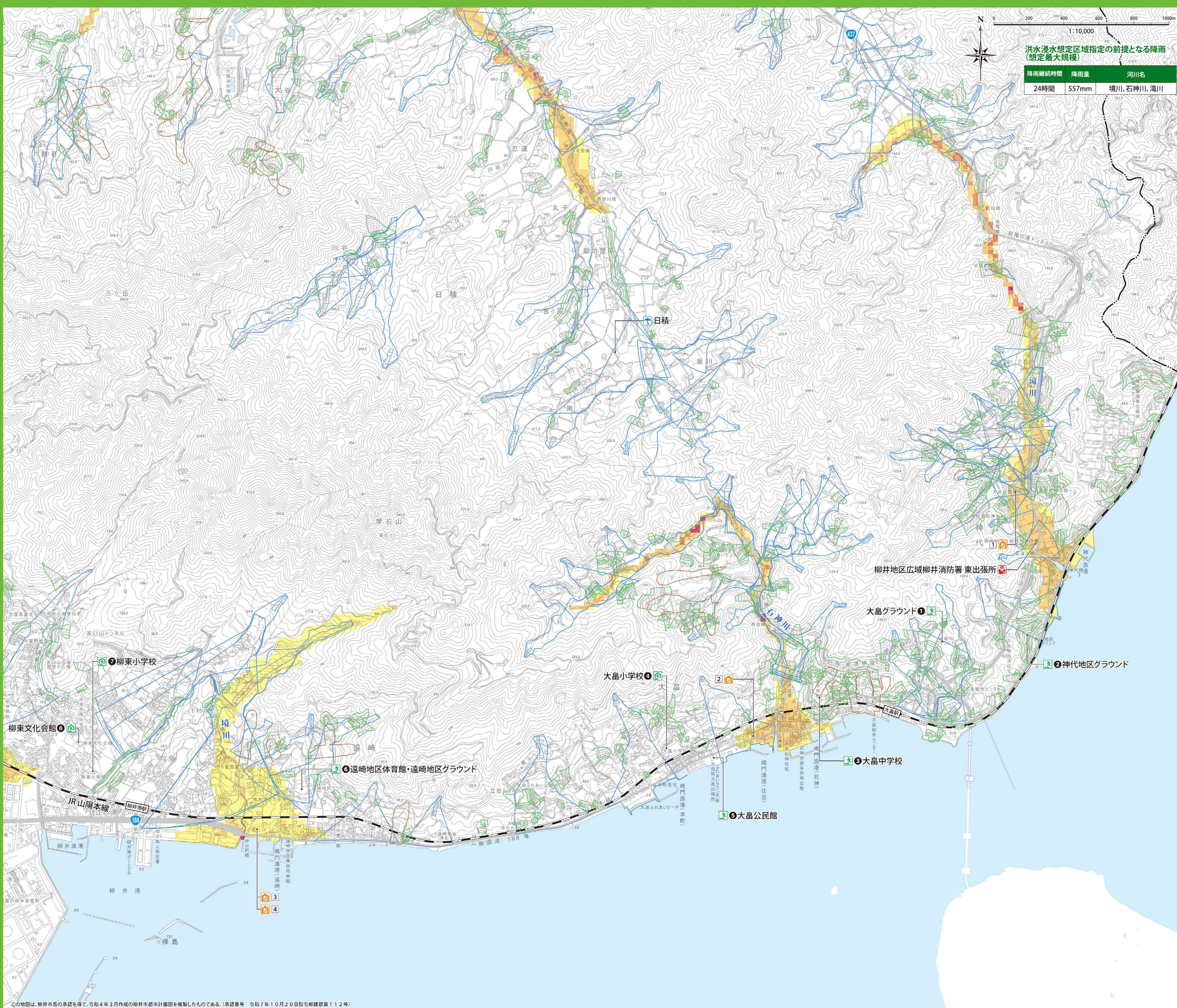


土砂災害(特別)警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 警戒区域
- 特別警戒区域
- 地すべり
- 警戒区域
- 土石流
- 警戒区域
- 特別警戒区域

施設等

- 指定避難所兼指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
- 要配慮者利用施設
- 消防署
- 雨量観測所
- 鉄道
- 市町界
- 国道



柳井市 洪水ハザードマップ 大富地区

改訂版

【発行】 柳井市役所建設部土木課 〒742-8714 山口県柳井市南町一丁目10番2号 ☎0820-22-2111 (代表)

洪水ハザードマップは、柳井市で想定される洪水や災害が起こったときに必要な情報を示しています。いざというときに備えて、このハザードマップをご活用ください。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	避難場所までの移動時間	分
家族の集合場所(避難場所で見えなかった場合)	避難時の緊急連絡先	

家族の連絡先

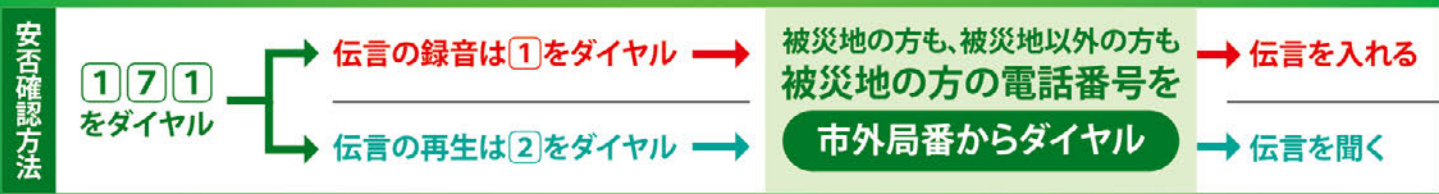
家族の名前	生年月日	携帯電話番号	血液型	会社・学校などの電話番号

いざというときの連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
柳井市役所	(昼間) 0820-22-2111	山口県柳井土木建築事務所	0820-22-0396
	(夜間) 0820-22-2116		

災害用伝言ダイヤル1717

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。



警戒レベルと避難情報

避難情報等は、住民が情報の意味を直感的に理解できるように、5段階の警戒レベルを用いて発令します。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。なお、警戒レベルは低い順から出るとは限りません。いきなり「警戒レベル4避難指示」を発令することがあります。

▼令和8年5月下旬から運用予定です。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報市が発令	警戒レベル相当情報気象庁が発表
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨特別警報 ^{※1} 土砂災害特別警報 ^{※1} 氾濫特別警報 ^{※1} 高潮特別警報 ^{※1}
警戒レベル4までに必ず避難!				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	大雨危険警報 土砂災害危険警報 氾濫危険警報 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{※2}	高齢者等避難	大雨警報 土砂災害警報 氾濫警報 高潮警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	—	大雨注意報 土砂災害注意報 氾濫注意報 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	—	早期注意情報

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものはない等の理由から、警戒レベルは必ず発令されるものではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて5段階の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。



雨の降り方と強さ(1時間雨量)

やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
--------------------	------------------	-------------------	----------------------	----------------

ザーザーと降る感じで、地面 どの降りど感じる。傘を差し バケツをひっくり返したような雨。 濁のような雨。傘も全く役に立たない。 息苦しいような圧迫感があり、恐怖を感じる。

避難時の行動を確認しましょう

災害が発生するおそれがあるときには、市や気象庁から警戒レベルに応じた災害情報が発表されます。情報入手に努めて、情報を確認したら、下表のマイ・タイムラインを参考に、とるべき行動を確認してすみやかに行動しましょう。

マイ・タイムライン

気象・避難情報 あらかじめ確認しておくこと／行動内容

平常時

- ハザードマップで自分の住んでいる場所の災害リスクを確認
 - 浸水想定区域内に ない ある(浸水深 m)
 - 土砂災害警戒区域内に ない ある
- 自宅が
 - 避難する場所の確認
 - 避難する場所:
 - 移動時間: 分
 - 移動方法:
 - 避難の際、支援が必要な家族・知人・ご近所の確認
 - 名前: 電話番号:
 - 名前: 電話番号:
 - 名前: 電話番号:
 - 名前: 電話番号:
 - 非常持ち出し品を準備
- 非常持ち出し品の確認
 - 1週間分の常備食を確認
 - テレビ等で天気予報を確認
 - 家族の今後の予定を確認
 - 親類や知人宅への避難を検討
- 防災情報の取得方法を確認
 - テレビボタン

大雨や台風接近の予報

警戒レベル1

早期注意情報

警戒レベル2

避難行動を確認

- ハザードマップ等で避難行動を確認
- 避難しやすい服装に着替える
- 携帯電話を充電しておく

警戒レベル3

高齢者等避難

避難に時間を要する人は、早めに避難

- 川の水位や雨量(住んでいるところとその上流)を確認
- テレビ等で洪水予報を確認
- 川の水位をインターネット等で確認

警戒レベル4

避難指示

危険な場所から全員避難

- 避難所等への避難を完了

警戒レベル5

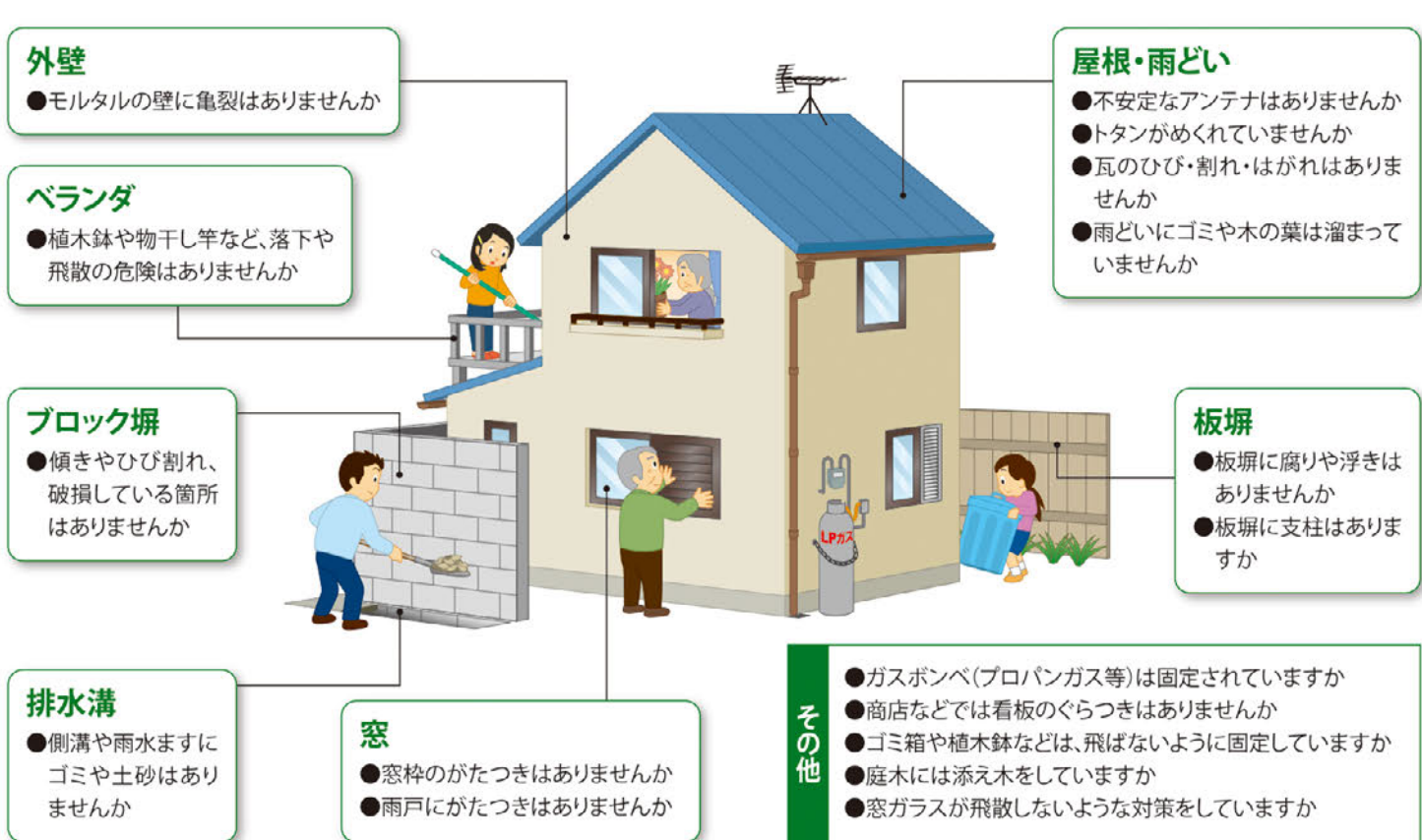
緊急安全確保

命の危険 ただちに安全確保!

※避難が完了していない場合は直ちに避難開始
※外に出ることは危険な場合は、建物内の安全な場所で身の安全を確保する

日頃の備え

災害に備えて、家屋のまわりの見回りや地域とのつながりを大切にしましょう。



非常持ち出し品

災害の危険が迫っているときは、すぐに避難しなければなりません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめて、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

- | | | |
|--|---|---|
| 食料 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安) ☐ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) ☐ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) ☐ 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ ホイッスル ☐ おくすり手帳 | 救急・安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) ☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう ☐ 傷薬、消毒薬 ☐ 持病のある方の薬 ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ ホイッスル ☐ おくすり手帳 | 貴重品 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 現金(小銭) ☐ 預貯金通帳、印鑑 ☐ クレジットカード類 ☐ 健康保険証資格格納書 ☐ マイナンバーカード、免許証、パスポートなど(本人確認できるもの) |
| 衣類など <ul style="list-style-type: none"> ☐ 衣類(厚手の物と薄手の物) ☐ 下着類 ☐ タオル、毛布 ☐ 手袋、軍手 ☐ 寝袋 ☐ 雨具 | 日用品など <ul style="list-style-type: none"> ☐ ビニール袋 ☐ 新聞紙 ☐ ライター ☐ ナイフ、缶切り ☐ ティッシュペーパー ☐ ウェットティッシュ ☐ 懐中電灯(予備電池) ☐ 携帯ラジオ(予備電池) | <ul style="list-style-type: none"> ☐ 携帯電話(充電器・バッテリー) ☐ 筆記用具(油性マジック) ☐ 洗面用具 ☐ メガネ ☐ マスク ☐ 体温計 ☐ 手指消毒液 ☐ 布ガムテープ ☐ ロープ ☐ 地図(ハザードマップ) |

避難のポイント

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

- 状況により、すばやく避難しましょう**
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- 浸水時、自動車での避難は危険**
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。
- 家族には連絡メモを残そう**
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。
- 防災メモを持とう**
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 集団で助け合おう**
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 安全なルートで避難**
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障がいのある人、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

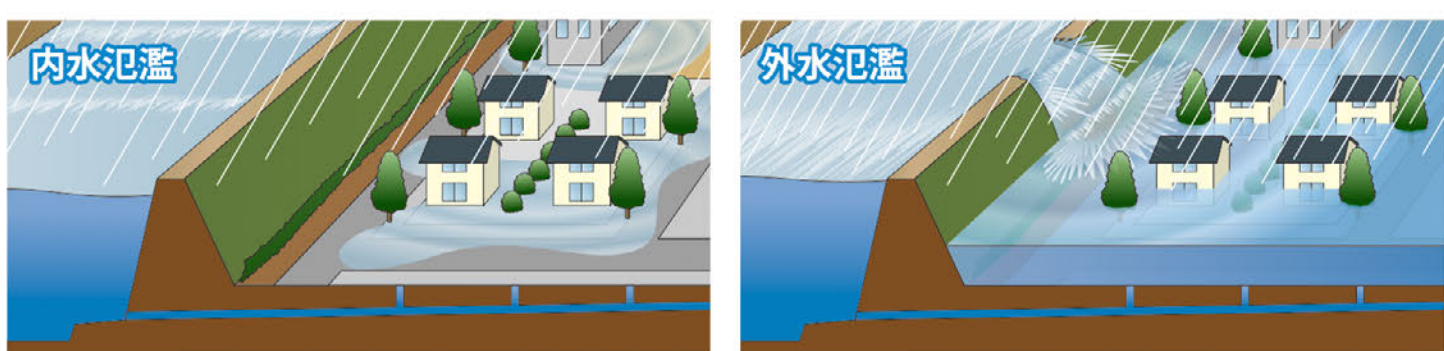
- 高齢者・病人**
 - おぶって安全な場所まで避難する。
 - 複数の介助者で対応する。
- 目の不自由な方**
 - 声をかけ情報を伝える。
 - 誘導する場合は、杖を持った方の手にわりやすいようにする。
 - 誘導する際は、杖を軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 肢体の不自由な方(車椅子)**
 - 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
 - 介助者が1人の場合、ひもなどを留意し、おぶって避難する。
- 耳の不自由な方**
 - 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

地域自主防災組織の活動に参加しましょう

洪水はもちろん、台風や地震などの災害や火事などによる被害を最小限に食い止め、安全な避難を実現するには、地域ぐるみの防災対策がもっとも有効です。日頃から、自主防災組織の防災訓練に参加し、市の緊急避難場所や避難する余裕がないときなどに備えて、近くの安全な場所にある自治会集会所などを地域の一時的な避難場所として決めておきましょう。

内水氾濫と外水氾濫

水害には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こる内水氾濫(内水氾濫)と、川の堤防が壊れたり、水があふれたりして発生する外水氾濫(外水氾濫)があります。まずは、水害の発生するしくみを理解して、避難場所まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



その場で雨が降っていなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

水位の名称等	避難情報等	内容	柳井川	新井川	田代川	土庄川	金川	山内川	千由川
氾濫危険水位	警戒レベル4相当	氾濫するおそれのある水位	2.6m	3.3m	1.9m	1.1m	4.2m	—	—
避難判断水位	警戒レベル3相当	住民の避難の目安のひとつとなる水位	—	—	—	—	—	—	—
氾濫注意水位	警戒レベル2相当	水防団などが、水害の発生に備えて出動の目安とする水位	2.5m	2.0m	1.8m	1.0m	2.7m	—	—
水防団待機水位	—	水防団などが、水防活動に入る準備を行う目安とする水位	1.8m	1.3m	1.7m	0.8m	2.2m	—	—

※山口県の水位周知河川には避難判断水位の設定はありません。

気象庁 キキクル(危険度分布)

● 気象庁は、大雨警報等を補足する情報として「キキクル(危険度分布)」を公表しています。
● 大雨警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを地図に重ねて確認することができます。

大雨警報等の危険度分布 キキクル 検索

柳井市 洪水ハザードマップ

過去の浸水実績

柳井警察署前交差点付近

最大1時間降水量69mm(平成17年7月3日7:40~8:40)
日降水量347mm(平成17年7月3日0:00~24:00)

平成17年7月3日未明に山口県東部を発達した梅雨前線が東進し、柳井地域や防大島地域で記録的な集中豪雨に見舞われました。柳井市内で床上浸水76棟、床下浸水752棟、このとき炎川の山陽本線から約450m北側地点(田布施町内)が決壊し、広範囲に浸水被害が発生しました。

◀平成17年大雨による浸水被害

柳井市のハザードマップ一覧

台風、地震、地すべりなど災害の種類によって避難場所も異なります。家の周りにはどういった災害の危険性があるのか、避難できる場所はどこがあるか、日頃から考えておきましょう。



情報マップの種類	内容
洪水ハザードマップ	河川が氾濫した場合の浸水想定区域や洪水に対する備え等を記載。
土砂災害ハザードマップ	土砂災害警戒区域等の位置や、災害時にいち早く円滑な避難が行えるよう避難場所、気象情報、災害情報の伝達方法等を記載。
地震(ゆれやすさ)マップ	柳井市への影響が大きいと考えられる地震が発生した場合の地盤のゆれやすさや地震に対する備え等を記載。
危険ため池ハザードマップ	大雨等により、ため池が万が一決壊した場合の浸水区域図。
高潮ハザードマップ	想定し得る最大規模の台風による高潮が発生した場合の浸水が想定される区域や浸水の程度に加え、高潮発生時の仕組みや浸水時避難のポイント等を記載。
津波ハザードマップ	南海トラフを震源とする地震で想定される津波浸水区域に加え、避難場所や避難の目安となる海拔10m以上の等高線を記載。

※各種ハザードマップは柳井市役所、各出張所で配布しています。また、柳井市ホームページで公開しています。
※https://www.city.yanai.jp/site/bousai/chizu.html